

柱及び梁の大部分が鉄筋コンクリート造である階についてDsを算出する方法  
 建告(昭55)第1792号第4

純ラーメン構造 & 壁式構造

	柱及び梁の部材群としての種別			
	A	B	C	D
純ラーメン構造	0.30	0.35	0.40	0.45
壁式構造	0.45	0.50	0.55	0.55

赤線部分の数值は覚えてください。

鉄骨鉄筋コンクリート造の場合は、鉄筋コンクリート造のDsより0.05を引いたもの。

耐力壁との併用構造

		柱及び梁の部材群としての種別			
		A	B	C	D
耐力壁の種別部材群と	A	0.30	0.35	0.40	0.45
		0.35	0.40	0.45	0.50
	B	0.40	0.45	0.45	0.55
		0.35	0.35	0.40	0.45
C	0.40	0.40	0.45	0.50	
		0.45	0.45	0.55	
	0.35	0.35	0.40	0.45	
		0.40	0.45	0.45	0.50
D	0.40	0.40	0.45	0.45	
		0.45	0.50	0.50	
	0.50	0.50	0.50	0.55	
		0.55	0.55	0.55	0.55

水平耐力の耐力壁負担割合小(3割以下)  
 水平耐力の耐力壁負担割合中(3割超え, 7割以下)  
 水平耐力の耐力壁負担割合大(7割超え)  
 水平耐力の耐力壁負担割合小(3割以下)  
 水平耐力の耐力壁負担割合中(3割超え, 7割以下)  
 水平耐力の耐力壁負担割合大(7割超え)  
 水平耐力の耐力壁負担割合小(3割以下)  
 水平耐力の耐力壁負担割合中(3割超え, 7割以下)  
 水平耐力の耐力壁負担割合大(7割超え)  
 水平耐力の耐力壁負担割合小(3割以下)  
 水平耐力の耐力壁負担割合中(3割超え, 7割以下)  
 水平耐力の耐力壁負担割合大(7割超え)

覚え方

純ラーメン構造 & 壁式構造

	柱及び梁の部材群としての種別			
	A	B	C	D
純ラーメン構造	0.30	0.35	0.40	0.45
壁式構造	0.45	0.50	0.55	0.55

鉄筋コンクリート造のDsは0.3以上0.55以下であるため、「0.3」と「0.55」を押えること

基本的には、0.05刻みで変動していることを理解すること

耐力壁との併用構造

		柱及び梁の部材群としての種別			
		A	B	C	D
耐力壁の種別部材群と	A	0.30	0.35	0.40	0.45
		0.35	0.40	0.45	0.50
	B	0.40	0.45	0.45	0.55
		0.35	0.35	0.40	0.45
C	0.40	0.40	0.45	0.50	
		0.45	0.45	0.55	
	0.35	0.35	0.40	0.45	
		0.40	0.45	0.45	0.50
D	0.40	0.40	0.45	0.45	
		0.45	0.50	0.50	
	0.50	0.50	0.50	0.55	
		0.55	0.55	0.55	0.55

細かい数値を全て覚える必要はありません。傾向を押えておくこと！

「柱及び梁の部材群としての種別」、「耐力壁の部材群としての種別」とは、せん断破壊(脆性破壊)しにくそうなものがA、せん断破壊する(しやすい)ものがDであるというイメージで十分です。

鉄骨造の場合

		柱及び梁の部材群としての種別			
		A	B	C	D
純ラーメン構造		0.25	0.30	0.35	0.40
種群筋別とかしいの部材	A	0.25	0.30	0.35	0.40
		0.25	0.30	0.35	0.40
	B	0.30	0.30	0.35	0.45
		0.35	0.35	0.40	0.50
C	0.30	0.30	0.30	0.35	0.40
		0.35	0.35	0.40	0.45
	0.40	0.40	0.40	0.45	0.50
		0.40	0.40	0.45	0.50

鉄骨造の場合は、基本的に鉄筋コンクリート造から0.05を引いたものとして理解してください。

水平耐力の筋かい負担割合小(3割以下)  
 水平耐力の筋かい負担割合中(3割超え, 7割以下)  
 水平耐力の筋かい負担割合大(7割超え)  
 水平耐力の筋かい負担割合小(3割以下)  
 水平耐力の筋かい負担割合中(3割超え, 5割以下)  
 水平耐力の筋かい負担割合大(5割超え)